

2014年の米国大規模非営利団体400組織への個人寄付総額は前年比5.1%増で、
特に高等教育機関への寄付が増加（10月29日）

「クロニクル・オブ・フィランソロピー（Chronicle of Philanthropy）」紙は10月29日、米国の大規模非営利団体400組織に対する寄付を調査する「フィランソロピー400（Philanthropy 400）」プロジェクトに関し、2014年の結果を発表した。これによると、調査対象となった400組織に対する寄付総額は前年比5.1%増で、特に公立・私立大学への個人による寄付が増加したことが明らかとなった。具体的には、個人寄付総額が最大であった私立大学のハーバード大学（Harvard University、マサチューセッツ州）には、前年比約45%増の11億5,561万ドルが寄付された一方、公立大学では、テキサス大学オースティン校（University of Texas at Austin）に前年比約80%増の約5億3,000万ドルが寄付された。なお、大学への個人による寄付総額上位3校は、私立大学ではハーバード大学に次いで、スタンフォード大学（Stanford University、カリフォルニア州、約9億2,850万ドル）、南カリフォルニア大学（University of Southern California、約7億3,190万ドル）が続いたのに対し、公立大学ではテキサス大学オースティン校に次いで、ワシントン大学（University of Washington、約4億7,800万ドル）、ミシガン大学（University of Michigan、約4億3,260万ドル）が続いた。

The Chronicle of Higher Education, These Colleges Received the Most in Gifts Last Year
<http://chronicle.com/blogs/ticker/these-colleges-received-the-most-in-gifts-last-year/106146>